

ベトナムフレンチXUAN
オーナー夫人

桑島依子

KUWASHIMA YORIKO

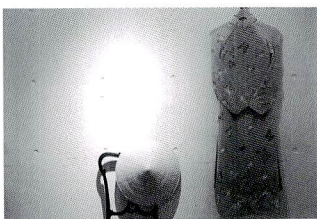
【プロフィール】1969年、京都生まれ。高校卒業後、旅行会社の専門学校へ進学し、旅行代理店に入社。その後、シェフの桑島里美さんとの結婚を機に家業を手伝うが、縁あって、94年27歳で東京・日本橋に初代「XUAN」をオープン。帰京後、結婚式場にてウエディングプランナーとして3年間の勤務を経て、現在の地で「XUAN」を構えるに至る。2児の母でもある

京 KYOTIAN I.D.
京のおきばりさん

最高・最強のサービスの極意とは 笑顔と気遣い、これに尽きる。



1月に現地へ赴き、蓮をモチーフにしたアクセサリーをはじめ、サンダルやバッグなど数々の雑貨を入手。店内入口で販売中だが、残りわずかなのでお早めに。6月にも仕入れ旅に出かけるため、いまから予約しておくのが得策



年に数回、アオザイパーティを開催。つくったはいいいけと来ていく場所が...という常客らの声から生まれた企画。次回は6月ごろの予定。現地の生地からアオザイのオーダーも受けているため、いますぐつくれば十分間に合う！



「ベトナムで過ごすバリエーション」を掲げ、本格フレンチの要素をふんだんに取り入れたヘルシーなベトナム料理を供す。ビギナーから熱狂的なベトナムファンまでも魅了するのは、良質なサービスが料理を惹き立てているから

information

ベトナムフレンチ「XUAN」

京都市中京区御幸町通四条上ル
西側 DECO III 1F
☎075・212・0656 ●11:00~23:00 / 水休
<http://www.xuan.jp/>

人懐こい笑顔と、心の裏にするりと滑り込むトークと、1歩先ゆく細やかな気遣いを三種の神器とばかりに、京都大学前で2時間400個ものお弁当を売った伝説を持つ彼女は、京大前での弁当販売のバイオニアであると言っても過言ではない。いまだ誰にも破られぬ記録を有する彼女には、サービスの持つ「飾ったイメージ」を笑い飛ばす勢いがある。その勢いに惚れて、客は店に通う。小さなカラダの大半を占める大きな器に惹かれて、彼女と話がしたくて

不変かつ普遍。「痒いところに手の届く接客を！」。これが全て。そのために必須なのが、「笑顔」と「気遣い」。お客様に対してはいつも一段下がったところから。決して上には立たない。けれど、店として必要な威厳も忘れられない。「このパランスが難しいんですよ」と、にっこり。難しいとは言いつつも、そこはかない自信が垣間見られる。それは驕りではなく、己が積み重ねてきたものへの自負。そんな自身へ課すことは、と問えば「いつでも料理を美味しく食べてもらうためにどうすべきか、を意識する」。料理人への敬意を胸に、仮に90点の料理であっても100点だと喜んでもらえるように。ましてや、100点の料理を80点にすることなどないように。最善かつ極上の心配りをする。それが、彼女自身の喜びでもある。そんな彼女の教えを受けて新たなスタッフが成長していく中、新たな展開を画策していく。そのバイタリティには恐れ入る。今春から、ベトナムのライフスタイルを提案するプロデュースとして、雑貨を中心としたオリジナルブランドを立ち上げるといふ。ウエディング部門を独立・拡大するのもその一環。その加速力、天晴れ。今後も彼女の動向から目が離せなくなりそうだ。